

可能性は無限大 お客様との出会いで広がる夢



じっと座って、お利口さんです



どんな髪型になるのかワクワク



お手紙に感謝の気持ちを込めました

皆様こんにちは。カンボジアは乾季真っ只中、日中は厳しい暑さの中、子どもたちは学校へ向かいます。その暑さと疲労から、夕方学校から帰ってきた後に部屋で寝てしまい、グループ農作業に遅刻してくる子どもも少なくありません。体調管理はもちろん大事ですが、疲れに負けない体力を身に付けてほしいと思います。

現在グループ農作業では、暑さで作物が枯れてしまわないように、水やりを重点的に行っています。そして、先月から農作業グループのメンバーと畑の場所を変更しました。今まで他の子どもたちが育ててきた作物を引き継いで大切に育ててほしいと思います。

今回のドリーム通信は、2月に来園されたお客様と子どもたちの様子、そして新しい日本人職員の紹介を致します。

子どもたちのヘアカット

開園当時から子どもたちのヘアカットをしに来て下さっているファーストカット様が今年も園に来て下さいました。

事前にどんな髪型にしようか楽しそうに考える子どもたち、自分の好きなサッカー選手の髪形にしたいという男の子もいました。また、普段ヘアカットをする習慣のない女の子たちは当日雑誌とにらめっこ、悩んでなかなか決められません。

1人ずつ順番に丁寧にヘアカットをしていただき、子どもたちは前よりもかつこよく、そして可愛くなり皆にんまり顔です。

そして、ヘアカット後にはご寄附でいただいたバスケットボールや縄跳びでたくさん遊んで下さいました。

子どもたちからはお礼として、伝統舞踊と楽器の披露、そして手紙をプレゼントしました。手紙は日本語や英語に挑戦した子どももいて、アン・サオリ（高1）の手紙には「美容師という仕事はとても素敵なお仕事ですね。なぜならカットすることで髪だけでなく、気持ちもきれいに明るくすることが出来るからです。私の夢はデザイナーになること、将来素敵な洋服をデザインし、お姉さんがヘアカットするみたいに、誰かを幸せ



準備体操は万全に



ゴールを狙って、懸命にボールを追っけます



一所懸命遊び、さわやかな汗をかきました



子どもたちと一緒にの農作業に取り組みます

にしてあげられるお仕事が出来たらいいと思います」と書かれていました。また、メーン・テッド（高1）の手紙には「美容師のお仕事に興味を持ちました」と書かれていて、ファーストカット様との出会いから、夢に広がりを持つことが出来ました。

毎年のように来園していただき、ヘアカットを通じて子どもたちの成長を見届けていただけることに感謝し、子どもたちにはいつも感謝の気持ちを忘れずに、「ありがとう」とたくさん言える人になってほしいと思います。

サッカークリニック開催

G F A soriya カンボジア日系アカデミーの皆様が来園され、サッカークリニックを開催して頂きました。みんなでウォーミングアップを行い、ドリブル練習から行いました。サッカーの好きな男の子も教えてもらったドリブルの細かい動きに、少し苦戦していました。最後はチーム戦、サッカーの好きな男の子たちの中には、お気に入りのユニフォームを着て試合に参加、白熱した試合が繰り広げられました。普段あまりサッカーをして遊ぶことの少ない女の子や小さい子たちも最後まで熱心にボールを追いかけて、試合は大変盛り上がり、皆でとても良い汗を流しました。

最後には子どもたちからG F A soriya カンボジア日系アカデミーの皆様にお礼の歌をプレゼントさせていただき、玄関でお見送りをしました。サッカーで疲れて子どもたちはぐっすり眠れたようです。

チームでゴールという一つの目標に向かって協力し合うこと、これは普段の生活でもいえることです。仲間と協力して、様々な困難に立ち向かい、強くたくましくゴールに向かって進んでいってほしいと思っています

新しい日本人職員 自己紹介

2月より新しく職員となりました小笠原美里です。ワタミの介護在職当時に社内ツアーで3度孤児院を訪ねています。初めて訪ねた時に出会った子との手紙の交流がきっかけで働きたいと思うようになりました。今ではその子も大学生になりプノンペンで再会をしました。訪れる度に変わるプノンペンの街、これから大きく発展するであろうカンボジアで子どもたちが自分の夢を叶える為に成長していく姿を応援し支えていきたいと思っています。また子どもたちには、感謝する心を忘れずにいること・優しさと厳しさを持ち合わせた大人を目指してほしいと思います。私自身、孤児院で働く夢を叶え、卒園生と再会する夢も叶えることが出来ました。介護職での経験を活かし、子どもたちから沢山のことを学び共に成長していきたいです。宜しく願いいたします。